



# 安全だより

公益社団法人  
岩出市シルバー人材センター  
安全・適正就業委員会

～ 安全就業スローガン ～

【 声掛けは 仲間を守る いのち綱 】

## 事故発生状況

年度別事故発生件数

種別 年度	傷害	賠償	合計
令和3年	8	5	13
令和4年	13	5	18
令和5年	14	2	16
令和6年	12	4	16
令和7年	14	2	16

令和7年度の事故発生件数は16件で、令和6年度と同数でした。ここ3年間は15件を超えなかなか減少しません。

令和7年度の特徴として、傷害事故14件の内半数の7件が転倒によるものでした。この状況を受け、転倒防止対策として「仕事前後の身体のメンテナンスとフレイル予防」を議題とした研修会を総会後に行いました。「環境整備」「体調の把握」「体力維持の運動」といった対策をとることで事故はかなり防げますので実行するようにしましょう。

賠償事故も2件と減少傾向にあるものの、引き続き安全対策を徹底し事故防止に努めましょう。

## 事故報告

令和7年12月から令和8年3月の事故発生状況を報告します。

種別	発生日	年齢等	区分	事故の状況
傷害	12/19	74歳	就業中	枯草の回収作業中、縁石につまずき転倒。肋骨骨折。
	1/7	77歳	就業中	調理作業中、大型炊飯器をセットした時、背中に痛みを感じ動けなくなった。背骨の8番目を骨折。
	1/14	77歳	就業中	管理業務中、定規とカッターを使って紙を切っていた時に、定規を押さえていた左手人差し指を切ってしまった。2針縫う。
	2/12	78歳	就業中	開梱作業で紐を切っていて、次の作業に移る際、切れていない紐に足を引っかけて転倒。右膝の皿（膝蓋骨）を骨折し、入院。
	3/26	85歳	就業中	広報紙を担当者宅へ配布中、車に戻る時に車止めに足を引っかけてしまい転倒し、左肘、左膝を挫創した。左肘6針縫合。

シルバー保険対象の傷害事故は5件ありました。そのうち3件は転倒による事故の報告です。高齢になると、注意力や筋力の低下などで転倒しやすくなると言われています。また、3件のうち2件は骨折、1件は縫合と大けがになっています。急いだりせず、安全第一を心がけ行動してください。

仲間同士でお互いを助け合い、安全意識を共有しましょう！

今回の現場は、学童保育（根来小学校）です。

安全管理、緊急時の対応や保育環境等の点検を行いました。

全体的に適切な安全管理が行われていました。

不審者対応における備品の配置について、1カ所に保管されていたので、すぐに取り出せる2カ所に分散するよう指示しました。転倒防止策もきちんととられていましたが、ゆりみ等がないか点検するよう指導しました。



「水のちょこちょこ飲み」が効果的!!

熱中症や脱水を防ぐには、のどの渇きを感じる前にこまめに水分をとることがとても大切です。シニア世代の水分摂取目安は、飲み物から1.2~1.5リットルほどが理想です。これを1回100ml以下、1日8~12回程度に分けて飲むのが、からだにやさしい「ちょこちょこ飲み」です。体調やその日の気温、活動量とのバランスを見ながら調整してください。

- 吸収効率が良い
- 脱水を防げる
- 血液サラサラ効果
- 胃腸への負担が少ない
- 習慣化しやすい

就業途上中、外出時に気分不良を感じた時など、少し休憩する場所として、気軽にセンターをご利用ください。



問題を解くことで脳が活性化されます！  
皆さん、チャレンジしてください!!

しりとりをしながらゴールを目指そう!!  
縦か横に進みます。テーマは「食べ物」  
↓スタート

ぶ	ど	う	ぱ	あ	う	り	さ	び	も	し
さ	た	め	き	い	ひ	れ	ね	ん	に	く
く	じ	か	ぞ	ご	ま	い	お	に	め	し
え	あ	ぶ	り	ん	ぎ	た	け	が	み	か
を	ん	ち	づ	え	び	ま	も	ふ	び	つ
で	な	ろ	も	う	ひ	が	う	ぎ	ね	く
ひ	つ	こ	と	と	っ	か	す	ま	な	う
へ	あ	し	ぼ	し	ら	た	き	よ	せ	た
き	い	ゆ	ん	ぺ	そ	わ	か	め	ん	た
あ	さ	あ	ぎ	く	い	く	ば	ざ	も	い
っ	り	る	く	さ	も	ち	う	る	ぶ	こ

ゴール↓

夏の食中毒にご注意!!

気温や湿度が高くなることで食べ物が腐りやすくなるこの時期は、食中毒が発生しやすくなるため注意が必要です。

食中毒予防の三大原則



食中毒を防ぐポイントを押さえて日頃から注意することで、健康な毎日を送ることができます。

ハインリッヒの法則



「ハインリッヒの法則」は、1件の重大事故が起こった際には、29件の軽微な事故、300件の事故寸前の危険状況（ヒヤリハット）が背景にあるという考え方です。

◆「ヒヤリハット」体験を教えてください◆

ハインリッヒの法則が示す教訓は、大事故を未然に防ぐためには小さなミスや「ヒヤリハット」が起きないようにすることが重要であるということです。今後の事故防止のために、事故には至らなかったものの、事故が起ってもおかしくない「ヒヤリとした、ハットした」事例がありましたら教えてください。

事故ゼロを目指し、元気に活躍しましょう！